



小学生のそろばんで2年連続  
市内一

### 渡辺由美子さん

伝法2 伝法小学校6年生



四月に行われた「第六回富士市小学生珠算競技大会」で、二年連続市内一に輝いた渡辺由美子さん。由美子さんというより由美子ちゃんと呼んだ方がピッタリ。笑顔のかわいい女の子です。

小学校一年生のとき友達に誘われてそろばんを始め、昨年の秋、小学生にはまれな二段を取得。学校では前から「番目」という小さい体ながら、問題を前にするとすごい集中力を発揮して、あつという間に答えをはしき出します。乗除の暗算は親指と人さし指をピクツと動かすだけで御名算。学校の先生もあてにするという正確さです。今回の大会では七百五十点中六百九十五点を取りました。そろばんの深沢末雄先生は「体は三二でもスケールの大きい子」とその素質を認めます。今回の受賞を一番喜んでくれたのは、おばあさんのこうさん。三人姉妹の末っ子で大のおばあちゃん子とか。

# まちか

## 我がまちを語る



### 鈴木邦衛さん

吉原本町2 (70歳)

### 祭りが生む吉原の力

東海道の宿場として発達してきた吉原は、昔から比較的豊かなまちでした。豊かであったことが、変化を好まない風土を築き、鉄道の駅設置などではマイナスの作用を

したとも考えられますが、総体としては順調に発展をしてきました。この発展のエネルギーは、いろいろあげられます。私なりに一番の力と思うのは祇園祭りです。町をにぎわすのは、いつの時代も人の集まりで、祭りはコミュニケーションの核です。祇園祭りのもたらす共同意識は、吉原への愛着となり、他地区には見られない住民の力を生み出しています。吉原は最近ちょっと元気がないと言われます。しかし、長期的視野で新幹線新駅との交通体系を整え、本町通りと昭和通りの間の再開発を考えれば、明るい展望が開けるのではと考えています。

## あの人の人こんなこと



### みんなが交通安全

鈴木亜希子さん(錦町二)



「雨降りは注意二倍の登下校」これは昭和六十二年度の交通安全スローガンとして募集された二百九十四万七千六百六十四点の中で、総務庁長官表彰を受けた作品です。作者は吉原第一中学一年生の鈴木亜希子さん。雨降りに子供が傘を前にして歩くのをヒントにしました。雨の日は鈴木さんの標語を思い出して、みんなが交通安全。

### 市内一の鉄人

久保田保雄さん(東本通二)



水泳三・九歳、サイクリング百八十歳、マラソン四十二・一九五歳のタイムを競うトライアスロン。久保田さんは「厄年を積極的に乗り切ろう」とトライアスロンに挑戦。昨年はハワイで行われた世界大会に出場し、見事完走しました。練習は毎朝五時半から二、三時間。疲れを知らない市内一の鉄人です。

### 静かな人気「寿コーラス」

和田義盛さん(錦町二)



吉原地区のお年寄りの間で、静かな人気を呼んでいるのが「寿コーラス」。昭和五十八年に十人ぐらいで始めたものが、現在会員百十人。月二回、吉原公民館を会場に、民謡から最新ヒット曲まで幅広く歌っています。主宰者の和田義盛さんは、つやのある声で「歌の上手下手より、歌を通じて人間関係を深めています。」と元気いっぱい。